

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら北坂戸教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数) 37件
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10件
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフが児童に寄り添い、一人ひとりの成長を考えながらより良い支援を考え実践していること	集団活動を基本にしなが、個々に合わせたスモールステップで行える方法も取り入れ、皆が楽しく活動できるように支援しています	常に「安全に楽しく」を意識しながら、個々の成長を促せるように情報共有をしながら支援をしていきます
2	5領域を意識した様々な活動プログラムを提供することにより、通所児童がいろいろな体験・経験をできるようにすること	考える・身体を動かす・表現する・伝える・他者と関わる・正しい生活習慣を身につける、などいろいろな経験を積めるように意識しながら支援しています	活動プログラムごとにスタッフ間で勉強会や振り返りなどもしながら、より充実した支援をできるようにしていきます
3	利用児童にとって分かりやすい教室環境・施設であること	建物内に文字+イラストで表示をするなどして、児童にとって視覚認識ができるように工夫しています	1階2階の行き来には階段しかなくバリアフリー化はできていませんが、スタッフが必ず補助できるように配置していきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方向けの支援が少ないこと	保護者会は定期的に行っているものの、その他の保護者様支援の機会が少ないと認識しています	ペアレントトレーニングや保護者様同士の交流など、まずは具体的にあがっている案の実現を目指していきます
2	地域との連携が少ないこと	幼稚園・保育園・学校などとの情報交換等は少しずつできているものの、そのほか周辺地域との交流に対して積極的に行ってきていなかったと認識しています	児童館の利用や地域の催事などへの参加などを徐々に増やしていき、地域連携もできるようにしていきます
3			